[千葉大]

数列 $\{a_n\}$ を次の条件によって定める。

$$a_1 = 2$$
,  $a_{n+1} = 1 + \frac{1}{1 - \sum_{k=1}^{n} \frac{1}{a_k}}$   $(n = 1, 2, 3, \dots)$ 

- (1) a<sub>5</sub>を求めよ。
- (2)  $a_{n+1}$  を $a_n$  の式で表せ。
- (3) 無限級数  $\sum\limits_{k=1}^{\infty} \frac{1}{a_k}$  が収束することを示し、その和を求めよ。

[神戸大]

n を自然数とする。以下の問いに答えよ。

(1) 実数xに対して、次の等式が成り立つことを示せ。

$$\sum_{k=0}^{n} (-1)^k e^{-kx} - \frac{1}{1+e^{-x}} = \frac{(-1)^n e^{-(n+1)x}}{1+e^{-x}}$$

(2) 次の等式を満たすSの値を求めよ。

$$\sum_{k=1}^{n} \frac{(-1)^k (1 - e^{-k})}{k} - S = (-1)^n \int_0^1 \frac{e^{-(n+1)x}}{1 + e^{-x}} dx$$

(3) 不等式 
$$\int_0^1 \frac{e^{-(n+1)x}}{1+e^{-x}} dx \le \frac{1}{n+1}$$
が成り立つことを示し、
$$\sum_{k=1}^\infty \frac{(-1)^k (1-e^{-k})}{k}$$
を求めよ。

6

[筑波大]

xy 平面において、x 座標と y 座標がともに整数である点を格子点という。また、実数 a に対して、a 以下の最大の整数を [a] で表す。記号 [a] を [a] を [a] で表す。記号 [a] を [a] で表す。記号 [a] を [a] を [a] の問いでは [a] を [a] を [a] を [a] で表す。記号 [a] を [a] で表す。記号 [a] を [a] の問いでは [a] を [a] を [a] の問いでは [a] を [a] の問います。

- (1) n を  $0 \le n \le N$  を満たす整数とする。点(n, 0) と点 $\left(n, N\sin\left(\frac{\pi n}{2N}\right)\right)$  を結ぶ線分上にある格子点の個数をガウス記号を用いて表せ。
- (2) 直線 y=x と, x 軸, および直線 x=N で囲まれた領域(境界を含む)にある格子点の個数を A(N) とおく。このとき A(N) を求めよ。
- (3) 曲線  $y = N \sin\left(\frac{\pi x}{2N}\right)$  ( $0 \le x \le N$ ) と, x 軸, および直線 x = N で囲まれた領域(境界を含む)にある格子点の個数を B(N) とおく。 (2)の A(N) に対して  $\lim_{N \to \infty} \frac{B(N)}{A(N)}$  を求めよ。

[千葉大]

(2) ①より、
$$a_{n+1}-1=\frac{1}{b_n}$$
 から $a_{n+1}\neq 1$  で、しかも $a_1\neq 1$  なので、 $a_n\neq 1$  である。  
これより、 $b_n=\frac{1}{a_{n+1}-1}$  ……②となり、 $n\geq 2$  で $b_{n-1}=\frac{1}{a_n-1}$  ……③である。  
すると、②一③から、 $b_n-b_{n-1}=\frac{1}{a_{n+1}-1}-\frac{1}{a_n-1}$  となり、  
$$-\frac{1}{a_n}=\frac{1}{a_{n+1}-1}-\frac{1}{a_n-1}, \ \frac{1}{a_{n+1}-1}=\frac{1}{a_n(a_n-1)}$$

n=1のときは、 $a_2-1=3-1=2$ 、 $a_1(a_1-1)=2\cdot 1=2$ となり、このときも④は成立しているので、 $n \ge 1$ で、

$$a_{n+1} = a_n(a_n - 1) + 1 \cdots \odot$$

よって、 $n \ge 2$  で、 $a_{n+1} - 1 = a_n(a_n - 1) \cdots (4)$ 

(3) ⑤から、
$$a_{n+1} - a_n = a_n^2 - 2a_n + 1 = (a_n - 1)^2 > 0$$
 となり、 $a_n \ge a_1 = 2$  なので、 $a_{n+1} \ge a_n(2-1) + 1 = a_n + 1$  すると、 $a_n \ge 2 + (n-1) = n + 1$  から、 $n \to \infty$  のとき  $a_n \to \infty$  となる。 さて、 $\sum_{k=1}^n \frac{1}{a_k} = 1 - b_n$  なので、②から、 $\sum_{k=1}^n \frac{1}{a_k} = 1 - \frac{1}{a_{n+1} - 1}$  となり、 $\sum_{k=1}^\infty \frac{1}{a_k} = \lim_{n \to \infty} \left(1 - \frac{1}{a_{n+1} - 1}\right) = 1$ 

## [解 説]

漸化式と極限の問題です。与えられた漸化式は扱いにくそうですが,誘導に従えば それほどではありません。 5 [神戸大]

(2) ①の両辺を 0 から 1 まで積分すると、

$$\begin{split} \int_0^1 \sum_{k=0}^n (-1)^k e^{-kx} \, dx - \int_0^1 \frac{1}{1+e^{-x}} \, dx &= \int_0^1 \frac{(-1)^n e^{-(n+1)x}}{1+e^{-x}} \, dx \cdots \cdots 2 \\ &\succeq \mathbb{T}, \quad \int_0^1 \frac{(-1)^n e^{-(n+1)x}}{1+e^{-x}} \, dx &= (-1)^n \int_0^1 \frac{e^{-(n+1)x}}{1+e^{-x}} \, dx & \succeq \mathbb{T}, \quad \mathbb{T}$$

(3)  $0 \le x \le 1$  において、 $1 + e^{-x} \ge 1$  より、

$$\begin{split} \int_0^1 \frac{e^{-(n+1)x}}{1+e^{-x}} dx & \leq \int_0^1 e^{-(n+1)x} dx = \left[ -\frac{e^{-(n+1)x}}{n+1} \right]_0^1 = \frac{1-e^{-(n+1)}}{n+1} \leq \frac{1}{n+1} \\ & \neq \delta \succeq, \ \left| (-1)^n \int_0^1 \frac{e^{-(n+1)x}}{1+e^{-x}} dx \right| = \int_0^1 \frac{e^{-(n+1)x}}{1+e^{-x}} dx \leq \frac{1}{n+1} \not > \delta, \ n \to \infty \not > \xi \end{split}, \\ & \left| (-1)^n \int_0^1 \frac{e^{-(n+1)x}}{1+e^{-x}} dx \right| \to 0, \ (-1)^n \int_0^1 \frac{e^{-(n+1)x}}{1+e^{-x}} dx \to 0 \\ & = \mathbb{E} \cdot (2) \not > \delta, \ \sum_{k=1}^n \frac{(-1)^k (1-e^{-k})}{k} = \log \frac{e+1}{2e} + (-1)^n \int_0^1 \frac{e^{-(n+1)x}}{1+e^{-x}} dx \not > 0 \end{split}$$

## [解 説]

定積分と無限級数の融合問題です。細かく誘導がつけられているので,方針に迷う ことはないでしょう。 6

[筑波大]

- (1) 点(n, 0) と点 $\left(n, N\sin\left(\frac{\pi n}{2N}\right)\right)$  を結ぶ線分上の格子点の座標を(n, l) とおくと、 $l=0, 1, 2, \cdots, \left[N\sin\left(\frac{\pi n}{2N}\right)\right]$ より、その個数は $\left[N\sin\left(\frac{\pi n}{2N}\right)\right]$ +1である。
- (2) 直線 y=x, x 軸, x=N で囲まれた領域(境界含む)にある格子点の個数 A(N) は,  $A(N)=1+\sum_{k=1}^N (k+1)=\sum_{k=1}^{N+1} k=\frac{1}{2}(N+1)(N+2)\cdots\cdots$ ①
- (3) 曲線  $y=N\sin\left(\frac{\pi x}{2N}\right)$  ( $0\leq x\leq N$ ), x 軸, 直線 x=N で囲まれた領域(境界含む) にある格子点の個数 B(N) は,

$$B(N)=1+\sum\limits_{k=1}^{N}\left\{\left[N\sin\left(rac{\pi k}{2N}
ight)
ight]+1
ight\}=N+1+\sum\limits_{k=1}^{N}\left[N\sin\left(rac{\pi k}{2N}
ight)
ight]\cdots\cdots$$
② きて、一般的に、 $\left[a\right] \le a < \left[a\right]+1$ から、 $a-1 < \left[a\right] \le a \ge t$ なり、 $N\sin\left(rac{\pi k}{2N}
ight)$   $N\sin\left(rac{\pi k}{2N}
ight)-1 < \left[N\sin\left(rac{\pi k}{2N}
ight)
ight] \le N\sin\left(rac{\pi k}{2N}
ight)$   $N\sum\limits_{k=1}^{N}\sin\left(rac{\pi k}{2N}
ight)-N < \sum\limits_{k=1}^{N}\left[N\sin\left(rac{\pi k}{2N}
ight)
ight] \le N\sum\limits_{k=1}^{N}\sin\left(rac{\pi k}{2N}
ight)$  ②より、 $1+N\sum\limits_{k=1}^{N}\sin\left(rac{\pi k}{2N}
ight) < B(N) \le N+1+N\sum\limits_{k=1}^{N}\sin\left(rac{\pi k}{2N}
ight) \ge t$ なり、①から、
$$\frac{2+2N\sum\limits_{k=1}^{N}\sin\left(rac{\pi k}{2N}
ight)}{(N+1)(N+2)} < \frac{B(N)}{A(N)} \le \frac{2N+2+2N\sum\limits_{k=1}^{N}\sin\left(rac{\pi k}{2N}
ight)}{(N+1)(N+2)}$$
  $\ge t$ るて、 $I(N) = \frac{2+2N\sum\limits_{k=1}^{N}\sin\left(rac{\pi k}{2N}
ight)}{(N+1)(N+2)} + \frac{4N^2}{\pi(N+1)(N+2)} \cdot rac{\pi}{2N}\sum\limits_{k=1}^{N}\sin\left(rac{\pi k}{2N}
ight)$   $\ge t$ るく と、
$$I(N) = \frac{2}{(N+1)(N+2)} + \frac{4N^2}{\pi(N+1)(N+2)} \cdot rac{\pi}{2N}\sum\limits_{k=1}^{N}\sin\left(rac{\pi k}{2N}
ight)$$
  $\ge t$ ると、 $N \to \infty$ のとき、 $\frac{\pi}{2N}\sum\limits_{k=1}^{N}\sin\left(rac{\pi k}{2N}
ight) \to \int_{0}^{\frac{\pi}{2}}\sin x \, dx = -\left[\cos x
ight]_{0}^{\frac{\pi}{2}} = 1$  より、 $I(N) \to 0 + rac{4}{\pi}\cdot 1 = rac{4}{\pi}$   $I(N) \to 0 + rac{4}{\pi}\cdot 1 = rac{4}{\pi}$ 

## [解 説]

格子点の個数を題材にした数列の極限の問題ですが,それに区分求積が絡むという 味付けが施されています。